

呉とヤマトを私たちの手で教材化しませんか。

大和ミュージアムが大人気です。
一般的な人気もさることながら、小中学校の遠足に無理やり組み込まれたり、行かざるを得ない情勢というのもあるそうです。また、その展示物の選出基準や歴史記述の内容についても、多くの課題を指摘しなければなりません。

学校などで大和ミュージアムに行かなければならないとき、誰かに大和ミュージアムを紹介してっていわれたとき、使える教材があったらいいと思いませんか？

「欲しいなら作ってしまおう！！」

私たち広島歴史教育者協議会（広島歴教協）はそう考えました。

今までの学習の蓄積を、多くの人目に触れる形で活かすチャンスでもあると思います。

私たちと一緒に教材化をやってやろうという方を募集しています。一人の力ではできないことも、多くの仲間の力と知恵を結集すればきっとできると思います。

<<企画案>>

ターゲット：“呉”を背景にした“大和ミュージアム”



第1次完成形態：プリント資料7枚

ヤマト遠足の事前指導用資料：2時間分

当日の学習ノート

振り返りと感想文用紙。

章立てと時代区分	想定している内容	歴史背景
前史 江戸から明治	自然地理と地政（瀬戸内海を背景に） 町の成り立ち なぜ呉なのか	
海軍工廠が 作られる 明治～大正	海軍工廠の建設と呉の町の発達 造船業の発達と陰（公害？） 軍需産業と企業城下町	産業革命 資本主義の成立
海軍工廠と呉 大正～昭和	労働者の生活と市民生活 民生の向上 労働運動 「聳ゆるマスト」	軍縮条約 大正デモクラシ
大和 作られる 戦前	大和の造船技術 アジア太平洋戦争と大和の“活躍”	日本の大陸侵略・孤立化・対米開戦
戦争と呉 戦中	呉空襲と市民生活 学徒動員 大和特攻	呉空襲 特攻 沖縄戦 原爆 敗戦
敗戦と復興 戦後	軍需転換と呉の発展 平和港湾都市建設 重工業の発達 市民生活の向上 町作り	日本国憲法 逆コース 高度経済成長
現在の呉 現代	造船不況後 産業のハイテク化 産業の停滞 企業城下町 軍産業と自衛隊・米軍（弾薬庫・イ-ズ） 新しい町作り	構造不況 ガイドライン法